



銭湯経営  
×  
地域貢献

地域のコミュニティとして  
長く愛されるお風呂にしたい

スーパー銭湯「ことぶきの湯」経営

加藤 裕さん

経済学部1980年卒業。家業を継ぐため合資会社コトブキ屋(段ボール製造販売)に就職。2000年に不動産賃貸業に業種変更し、土地を「やまとの湯」として貸し出すが、2011年に「ことぶきの湯」として継承する。

■ 現在の仕事とやりがいを教えてください

スーパー銭湯「ことぶきの湯」を経営しています。受付のカウンターにいます。常連のお客様から声を掛けていただくことも多く、地域の皆様に愛されていると感じます。お客様に「よい湯だった、ありがとう」と言われるのが、何よりうれしいですね。名古屋学院の卒業生の皆さんにもよく利用していただいています。

■ 大切にしていることは何ですか？

これまでサービス業で働いた経験がなかったため、経営を継承した当初は大変、苦労しました。「お客様の立場になって考えること」。言葉にすれば簡単ですが、どうすれば本当にお客様が満足していただけるのか、失敗の連続で、トライ&エラーで経験を積み重ね、少しずつ成長してきました。これからもできるだけお客様の声に応え、長く愛される店づくりを進めたいと思っています。

■ 今後の目標を教えてください

地域のコミュニティとして人が集まる「地域密着型のお風呂」を目指しています。回数券のナンバーで当たる抽選会や、子ども用プールを使った遊び場づくりなど、ファミリーをターゲットにしたイベントなども増やして、家族連れのお客様にもっとご利用いただけるようなにぎやかなお風呂にしていきたいですね。

スーパー銭湯 ことぶきの湯：  
尾張旭市三郷町栄83番地（三郷駅東隣り）  
0561-52-1026

加藤さんのお仕事を拝見!



社長兼支配人として、受付、掃除、雑役など何でもこなす

「串揚げ 西陣」店主

浅井 輝夫さん

経済学部1984年卒業。7年半、一般企業に勤務し、1992年に「串揚げ 西陣」を星が丘で開業。仕入れ、仕込み、営業、後片付けまで一人でこなし、現在23年目。

串揚げ  
×  
夢の実現

小学生のころからの夢を実現  
ずっと向上心を持ち続けたい

■ 現在の仕事とやりがいを教えてください

星が丘で、カウンターだけの串揚げ店「串揚げ 西陣」の店主をしています。開業して23年目。提供する料理をおいしく食べていただくことが一番のやりがいです。料理やお酒を通して、さまざまなお客さまと出逢い、つながっていくことができるのも、たまたなく楽しく感じています。

■ なぜ串揚げ店の店主になったのですか？

小学生のころ、日曜日に家族でごはんを食べにいくと必ず待たされました。ですが、その待ち時間に厨房をのぞかせてもらう機会があり、その活気ある厨房がとても楽しそうに感じたのです。以降、私の夢は「飲食店で働くこと」に。そしてその夢は、大学生になっても社会人になっても変わらなかった。大学生の時に串揚げの美味しさを知り、一番好きな料理になったことから、串揚げ店を開業しました。

■ 今後の目標を教えてください

お店に20年以上通ってくれる方もいます。そして、名古屋学院大学在学中に所属していたラグビー部の先輩や後輩が、今でも店に寄ってきます。だからこそ、今の私の目標は、できるだけ長く店を続けること。そのためには、常に向上心を持って、新しい料理や新しいサービス、新しい美味しさを生み出していかなければならないと思っています。お客さまに満足して帰っていただくこと。それをなによりも大切にしていきたいですね。

串揚げ 西陣：  
名古屋市千種区星ヶ丘2丁目39番地  
052-782-6074



浅井さんの活動を拝見!



カウンターごしに、揚げたての創作串揚げを提供している

名古屋学院大学のラグビー部の先輩後輩が、今も店に訪れる